

「橋梁点検調査の社内研修会」の開催

西日本総合コンサルタント株式会社

1. 開催目的

社会資本整備の中で道路橋梁がコンクリート構造物の代表としてあげられる。しかしながら昭和40～60年頃までに建設されたものが多く、経年変化も著しく、場合によっては道路利用者・第三者に被害を及ぼす可能性もあり、重大な損傷の早期発見、早期対処（安全の確保）が必要となっている。このため道路管理者による5年毎の橋梁点検業務委託が発注されている。

今回、佐賀市から市街地中心に位置する橋梁約150箇所の点検業務を県内業者JV（西日本総合コンサルタント・新九州測量設計特定建設関連業務共同企業体）として受注した。

このため当社の熟練技術者（アセットマネジメント技術営業部長）を講師として、新九州測量設計（株）の社員と当社の若手社員、女性社員などを対象に「橋梁点検調査・社内研修会」を開催し、橋梁点検技術の基礎、手順、技術の平準化、スキルアップ等を習得することを目的とした。

2. 日時・場所

日 時：令和2年6月26日（金） 午後1時30分～4時

場 所：西日本総合コンサルタント株式会社・大会議室

参加者：新九州測量設計（株）社員3名、西日本総合コンサルタント(株) 社員10名

3. 研修テーマ、講師

研修テーマ：橋梁点検業務について

講 師：西日本総合コンサルタント（株） 調査設計第2グループ
アセットマネジメント技術営業部長 鶴崎智博 氏



4. 研修内容

当社は、コンクリート構造物健全度調査をメインとしたアセットマネジメント・チームを平成25年10月に立ち上げ、県内コンサルタントの先駆けとして橋梁点検・橋梁補修設計業務等に取り組んできた。

橋梁点検業務は、橋梁の現状を把握し、耐荷力・耐久性に影響すると考えられる損傷や道路利用者・第三者に被害を及ぼす可能性のある損傷を早期に発見することにより、常に橋梁を良好な状態に保全し、安全かつ円滑な交通を確保することを目的としている。

点検結果などで得られたデータを「佐賀県橋梁維持管理システム」に記録・保存して蓄積することにより計画的、効率的な維持管理の推進を行うことになる。

橋梁点検については、「通常点検、定期点検、異常時点検」があり、今回受注したのは5年に1回の定期点検となっている。

定期点検では、橋梁を常時良好な状態に保つために、必要な知識および技術を有する技術者が5年に1回の頻度ですべての部材を近接目視するものである。また定期点検では部材毎、橋梁毎に健全性の診断を行うこととなっている。定期点検・診断の結果は「佐賀県橋梁維持管理システム」に記録・保存する。

近接目視方法としては、橋梁点検車、高所作業車、梯子、脚立、ボート、足場、ロープアクセス法、ワイヤーウォーク、特殊高所技術などがある。

損傷の種類、損傷種類ごとの損傷等級基準、健全度の診断等に区分して整理することになる。

5. 研修会状況

